



社会福祉法人

広報

# 静岡いのちの電話 47号

## しばらくは離れて暮らすコとロとナ

静岡いのちの電話後援会 会長 溝口康博

新型コロナウイルスの猛威は富める大国にも貧しい発展途上国にも等しく襲い掛かっています。中国で沈静化しても米国、欧州では第2、第3波が懸念され、衛生状態のよくない南米、アフリカ、東南アジアでも衰える様子が見えませんが、ワクチンの開発が成功するまで世界規模での「もぐら叩き」状態が続くのでしょうか。

利害関係が錯綜する中で、久しくなかった世界共通の克服課題であるにもかかわらず、音頭をとるべき大国、とりわけ米国は自国第一主義を掲げて二期目を目指す現職大統領の動向報道ばかりです。本稿が掲載される頃には新大統領が決まっているはずですが、すでに米国に「世界の警察」のプライドはないようです。どの国も自国内対応で手一杯で他国のことを考える余裕などなく、国際機関も残念ながらその機能、役割を果たせていません。世界にとってコロナ禍は大きなピンチではあります。しかしながら同時に克服に向けて一つにまとまるチャンスでもあると思うのですが、現実には厳しいようです。

さる明け方、目が覚めて聞くととはなしにラジオを聞いていると昨年の開局20周年で講演いただいた眞壁伍郎先生のインタビューが流れていました（2019.1.9の再放送）。その中で強く印象に残った言葉。

「顔が見えない人の、言葉を待つ」

相談員の経験のない私にも「待つ」ことの重さが伝わりました。ソーシャルディスタンスが必要だと理屈ではわかっている、器具の暖房よりも人と人とのぬくもりが伝わる「心の距離」を取り戻したいと願うばかりです。

「いのちの電話」の意義、果たす役割はこのコロナ禍でさらに大きくなっています。相談員の皆さん、事務局の方々のご苦勞を思うと微力ですが後援会としても映画会、講演会を通しての「電話」のアピールと一社でも多くの寄付企業へのお願いに汗を流したいと思います。

最後に、最近 SNS 上で評判の短歌を紹介します。

『しばらくは離れて暮らす「コ」と「ロ」と「ナ」  
次逢ふ時は「君」といふ字に』



聴かせてください ひとりで悩まずに

相談電話 054-272-4343 しみじみ  
相談時間 年中無休 12:00~21:00

24時間、隣にいます。

心の痛み、話せる電話です。

自殺予防 いのちの電話  
0120-783-556  
毎月10日 8:00~翌日8:00  
(24時間・無料です)



あなたがいつでも、  
近くにいます。





## 第21期電話相談員認定書授与式は延期されました

電話相談員認定を9月に控えた第21期研修生は、半年間の研修期間を残したまま研修をいったん休止せざるを得ませんでした。現在、3か月遅れで7月から研修を再開し、12月末の認定に向けて研修に取り組んでいます。

認定書授与式は2021年1月に行うことになりました。

## 棚田便り



10月17日(土) 清沢の棚田の稲刈りが行われました。当日は雨模様だったので、予定していたのに現場に行けなかった人達もいました。集まった少人数が頑張って大働き。小雨の中でしたが、おおぜいの静大農学部で学生たちで棚田は賑わいました。昨年はイノシシにやられました、今年は豊作で大満足でした。

## 赤い羽根共同募金キャンペーン

10月1日呉服町青葉シンボルロードで行われました。この時世ですから、募金を呼びかける人も三密にならぬよう人数制限で、呼びかけも大きな声を自粛して録音テープ、赤い羽根もパンフレットも募金箱の横に置き、ご自分でお持ちいただくようにしてありました。いつもの「ご協力お願いいたしまーす」の声が飛び交う賑やかさや、胸元に赤い羽根を付けてあげるという触れ合いもなく、とても静かなキャンペーンでした。それでも黙って立ち止まり、募金して、赤い羽根を持って行って下さる方々に感謝です。



## 市民公開講演会

(静岡市助)

## 映画と講演の会

講演 「いのちと自然と食べ物」

講師 静岡いのちの電話理事長 中井 弘和

映画 「ビッグ・リトル・ファーム」

自然を愛する夫婦が夢を追う8年間の奮闘を描く奇跡のドキュメンタリー。250種類もの野菜と果物、動物たちと大自然が紡ぐ壮大な感動ドラマです。

日時 12月12日(土) 14:00~16:20

会場 サールナートホール (静岡市)

申し込み ☎054-272-4344 静岡いのちの電話事務局



## 自殺予防公開講演会

(厚生労働省助成)



「今こそ、勇気づけを！」

日時 2021年1月23日(土) 14:00~17:00

会場 新静岡セノバ前  
県教育会館 4F大会議室

講師 静岡県教職員互助組合常務理事  
内田 育子氏

## 講演録をお分けします

開局20周年記念式典で行われた眞壁伍郎先生の講演録を作りました。ご希望の方は下記までご連絡ください。代金は不要です。

◇静岡いのちの電話事務局

☎054-272-4344 (平日12:00~17:00)



## 第22期静岡いのちの電話相談員養成講座 受講生追加募集



かけがえのない命を尊重し、対話する電話相談ボランティアです。あなたも参加しませんか。この養成講座を受けて電話相談員として認定されると、「いのちの電話相談ボランティア」として活動することになります。毎日24時間、年中無休をめざしています。

今年度（第22期）の講座開始が1年間延期されましたので、来年度は22期講座の追加募集と位置付けました。

**【応募資格】** 23歳からおおむね65歳（2021年3月31日現在）の方で、性別、学歴、経験は問いません。「いのちの電話」の趣旨に賛同し、1年半の研修の全日程に参加することができ、認定後は、電話相談をはじめとするさまざまな活動に参加できる方。

**【受付期間】** 2020年12月1日(火)～2021年2月8日(月)

**【研修期間】** 2021年4月～2022年9月

**【受講料】** 5万円（初年度2万円・2年目1万円／宿泊研修費は2回で2万円）

**【応募方法】** 事務局あてに募集要項をご請求ください。

Tel.054-272-4344（平日13:00～17:00） Fax.054-255-1817

ホームページからも印刷可能です。[PDF ファイル]

## 私が電話相談員養成講座に応募した時のこと

在職中のことですが、相談部門に若い男性からの電話がありました。いきなり「サラ金で困っているんだよ。助けてくれ」と言うのです。サラ金問題は弁護士さんが対応されていたので、あまり深入りせずに弁護士に相談するように案内しました。しかし彼の困っているんだという声がずっと耳にこびりついていました。

数年後、悪質業者を追っている警察から電話がありました。あの時の男性が悪質業者の被害にあい、サラ金で多額の借金をし、私と電話した後弁護士に予約し、直後に自殺したというのです。最後に話したのが私になるので、その時の事情をききたいとのことでした。

彼の悲痛な声を思い出し、私が彼の話をもっと丁寧に聴いていたら、サラ金は解決できなくても自殺はしなかったかもしれないと思って、ずっと落ち込んでいました。

その頃、偶然いのちの電話を知り、専門家を紹介する職務としてではなく、悩んでいる人の心にただただ寄り添いたいと思い、相談員養成講座に応募しました。最近友人と会話中「以前のあなたとは何かしら変わったような気がする」と言われ驚き、ハッとしました。いのちの電話のおかげと感謝しています。（相談員A.T）

私は整形外科のリハビリ室で働いていました。ここに来る毎日多くの入院・通院の患者さんの中には、治療よりも話をしたい、聞いてもらいたいという願いを持った人達もいて、施術中、毎日同じ話を聞かされ、話よりもっと治療を受けてほしいといつも思っていました。

その後、カウンセラーの資格を通信教育で受講して取りました。

その学びの中で、リハビリ室に来る人達の一番の願いは、“心を聴いてもらいたい、体の痛みと同じくらい、心の痛みも治したい”のだという事に気づかされたのです。話をしたい、聴いてもらいたいということだったのです。それからは、リハビリの意欲も湧き、治療にも積極的になり、勉強して本当に良かったと思いました。

視覚障がい者の私でも出来るボランティアは、ないかと探していた時、いのちの電話を知りました。私にはハードルが高すぎるかなと思いましたが、1年半の研修に挑戦してみたところ奇跡が起り、相談員に認定されました。その時の喜びは忘れられません。いざ電話に対応すると悩むことが多く、まだまだ未熟な私ですが、続けていきたいと思っています。相談員の仲間や事務局の皆様のおかげで、いのちの電話に携わることで、豊かな人生を歩めることに心から感謝しております。

（相談員O.Y）

## 編集後記

☆7人家族の私の「コロナ禍」は家庭菜園で癒されています。不登校児を持つ娘の心の安定場所も同じらしい。逃げ場は必要！家庭菜園は有効！を実感しながら見守っていききたい。（相談員T.I）

☆半年以上自粛してきた新幹線での移動。秋に思い切って埼玉の一人暮らしの高齢の母の元へ会いに行ってきました！会いたい人にすぐ会える日が早く来ますように。

（相談員A.K）

☆新型コロナウイルス感染症拡大のために研修もイベントもおおあずけ状態、と言っている間に病院でさえクラスター発生、欧州での大再燃、世界中が注目している大統領選の大騒ぎと、めまぐるしい動きの中の本号の編集発行となりました。（広報青木）